

《研究課題名》

「青・壮年者を対象とした生活習慣病予防のための長期介入研究（HIPOP Study）」の既存データを用いた個別保健指導の介入効果に関する分析

《研究対象者》

平成10年～平成15年に実施した「青・壮年者を対象とした生活習慣病予防のための長期介入研究(HIPOP Study)」に参加された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の平成10年～平成15年に実施された「青・壮年者を対象とした生活習慣病予防のための長期介入研究(HIPOP Study)」で取得した情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記（4）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究課題名》

「青・壮年者を対象とした生活習慣病予防のための長期介入研究（HIPOP Study）」の既存データを用いた個別保健指導の介入効果に関する分析

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～令和12年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター センター長 三浦 克之

（2）研究の意義、目的について

《意義》

一般集団とハイリスク集団における個別生活指導による介入効果生活習慣病予防効果を検証することができます。

《目的》

この研究により、個別保健指導介入と職域全体への環境改善を含む介入の数年にわたるアウトカムを経時データより分析し、さらなる生活習慣病予防効果を検証することが目的です。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

「青年・壮年者を対象とした生活習慣病予防のための長期介入研究(HIPOP Study)」の既存データをベースとし、一般集団とハイリスク集団の血圧・尿・臨床検査値の経時データ分析を行う研究です。また、個別生活指導による介入効果について経時データを考慮した再分析を行う研究です。また本研究は、滋賀医科大学を中心に、滋賀医科大学、慶應義塾大学が協力して行う多機関共同研究です。

《利用し、又は提供する情報の項目》

過去のデータの二次利用を行います。

身体計測:身長、体重、BMI、血圧(収縮期・拡張期)、血液検査:総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、空腹時血糖、尿検査、生活習慣に関する質問:喫煙状況、飲酒量、身体活動量、食習慣、健康意識および行動変容に関する質問が項目として含まれます。

《情報の提供先》

慶應義塾大学 衛生学公衆衛生学

《情報の提供方法》

匿名加工されたデータを暗号化された電子媒体(DVD等)の郵送等にて共有します。データの授受が発生した場合には、提供年月日・提供先・情報内容を記録し、研究責任者の責任のもと滋賀医科大学 NCD 疫学研究センターで適切に管理します。

《情報を利用する者の範囲》

慶應義塾大学 衛生学公衆衛生学 教授 岡村智教

《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 本研究に関する問い合わせ先

担当者:滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター センター長 三浦 克之

住所:520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号:077-548-2191

メールアドレス:hqcera@elle.shiga-med.ac.jp